

一橋大学「社会科学の発展を考える円卓会議」

スタートアップ・エコシステムの構築

- 東京大学における取組事例 -

2025年7月24日

開志専門職大学 学長

東京大学 特命教授 名誉教授
各務茂夫



開志専門職大学 学長
東京大学 特命教授
東京大学 名誉教授
各務 茂夫

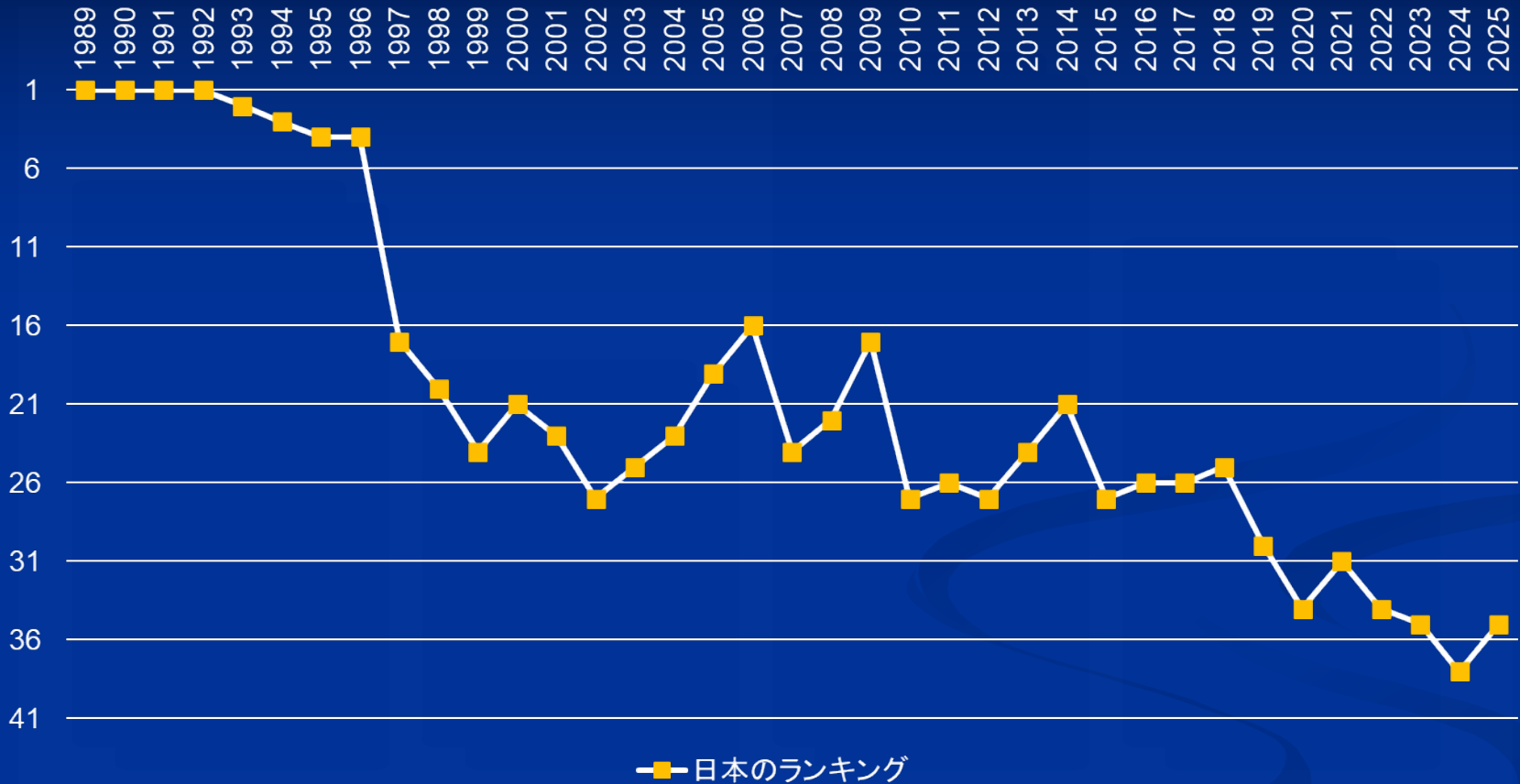
学歴

- 1982年
一橋大学商学部卒
- 1989年
スイス IMD) 経営学修士 (MBA)
- 2000年
米国ケースウェスタンリザーブ大学経営大学院博士 (DM/EDM)

職歴

- 1982年 -1986年
ボストンコンサルティンググループ (BCG)
- 1986年 -1997年
コーポレートディレクション (CDI)
創業パートナー、取締役主幹、米国事務所長
- 2000年 -2002年
ハイドリックアンドストラグルズ 東京事務所パートナー
- 2002年-2004年
東京大学大学院薬学系研究科客員助教授
- 2004年-2013年
東京大学 教授 産学連携本部 事業化推進部長
東京大学エッジキャピタル監査役
- 2013年-2020年
東京大学 教授 産学連携本部 (現産学協創推進本部) イノベーション推進部長
- 2020年4月 -2025年3月
東京大学 大学院工学系研究科 教授 産学協創推進本部 副本部長
- 2025年4月～
開志専門職大学 学長、東京大学 特命教授
- 2020年1月 -2024年12月
日本ベンチャー学会 (現一般社団法人日本ベンチャー学会) 会長

IMD「世界競争力ランキング」 (日本)



ランキングの公表が開始された1989年(平成元年)から1992年まで1位を維持し、96年までは5位以内で推移したが、金融システム不安が表面化した1997年には17位に急落し、その後は一時的に上昇する時点はあったものの、長期低迷している。最新版の2025年では、昨年対比で3つランクをあげ35位となった。

国立大学法人法(施行当時)

(業務の範囲等)

第二十二条 国立大学法人は、次の業務を行う。

- 一 国立大学を設置し、これを運営すること。
- 二 学生に対し、修学、進路選択及び心身の健康等に関する相談その他の援助を行うこと。
- 三 当該国立大学法人以外の者から委託を受け、又はこれと共同して行う研究の実施、その他の当該国立大学以外の者との連携による教育研究活動を行うこと。
- 四 公開講座の開設その他の学生以外の者に対する学習の機会を提供すること。
- 五 当該国立大学における**研究の成果を普及し、及びその活用を促進すること。**
- 六 当該国立大学における技術に関する研究の成果の活用を促進する事業であって政令で定めるものを実施する者に出資すること。
- 七 前各号の業務に附帯する業務を行うこと。

日本の10大発明家 (1985年特許庁100周年記念行事)

- 豊田佐吉(木製人力織機)
- 御木本幸吉(養殖真珠)
- 杉本京太(邦文タイプライター)
- 高峰讓吉(タカジアスターゼ、アドレナリン:工部大学校第一期生→ドイツ留学)→三共
- 池田菊苗(グルタミン酸ソーダ、味の素:東京帝国大学理学部化学教室教授)→味の素
- 鈴木梅太郎(ビタミンB1:東京帝国大学農科大学教授)→「理研ビタミン」の名で商品化
- 本多光太郎(世界最強の永久磁石ーKS鋼:東北帝国大学教授・総長)→住友金属工業
- 八木秀次(アンテナ:東北帝国大学教授・工学部長)→八木アンテナ
- 丹羽保次郎(有線写真電送装置、ファクシミリ:東京電氣大学長)→小林正次と共にNECの発展に寄与
- 三島徳七(MK磁石鋼:東京帝国大学工学部教授)→GE等にライセンス

出所:特許庁総務部総務課

□テルモ:北里柴三郎(国立感染症研究所:東京大学医科学研究所、初代所長)、体温計の国産化のための「赤線検温器株式会社」

□ヤクルト:代田稔(京都帝国大学医学部微生物学教室)、乳酸菌強化培養に成功「ラクトバチルス カゼル シロタ株」

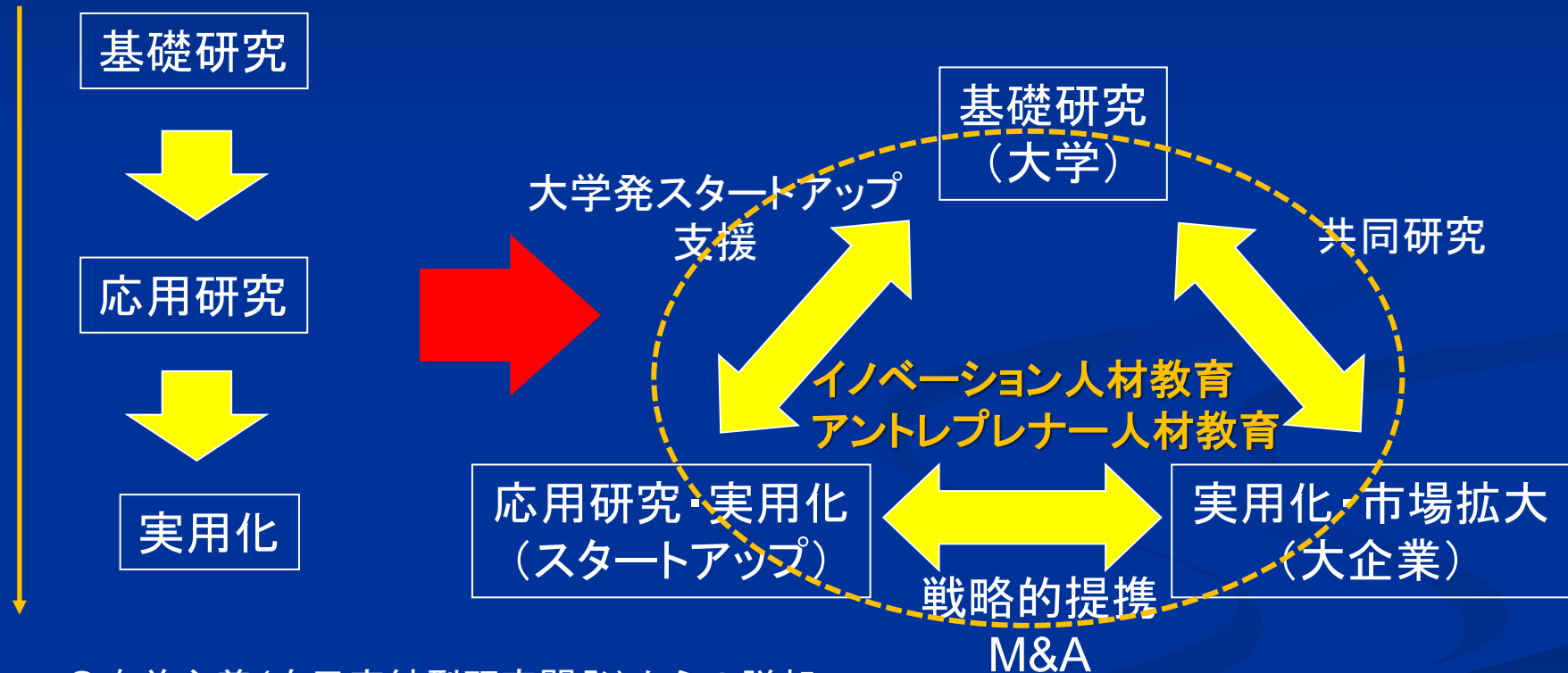
□横河電機・横河ブリッジ:横河民輔(東京帝国大学工科大学造家学科卒)、日本発の鉄骨構造の講義を担当

□帝人:秦逸三(旧制米沢高等工業＝現山形大学工学部教授)、レーヨン(人造絹糸)

イノベーション・エコシステムの進化論

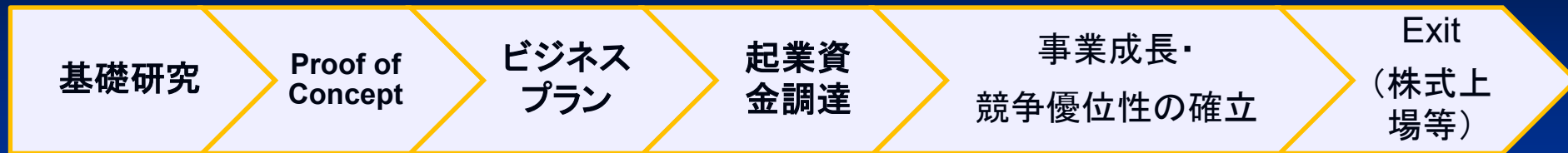
大企業中心の リニアモデル

大学、大学発スタートアップが 大きな役割を担うオープンイノベーション



- 自前主義 (自己完結型研究開発) からの脱却
- 大企業・大学・スタートアップ間のオープンイノベーション・モデルへの転換
- 大企業によるスタートアップの戦略的活用 (取り込みとカーブアウト等)
- イノベーション人材教育の抜本的強化、ポスドク・博士研究者のキャリアパスの多様化

東大発スタートアップ育成のエコシステムの構築



【産学連携本部(現産学協創推進本部)】

ワンストップ・コンサルテーション

外部プロフェッショナルネットワーク
「**東大メンターズ**」

共用インキュベーション室(本郷)
駒場・本郷インキュベーションルーム

東京大学アントレプレナープラザ

【東京大学エッジキャピタル(UTEC)】

UTEC サマージョブ

UTEC EIR(アントレプレナー・イン・レジデンス)

UTEC 第1号ファンド(約83億円)

UTEC 第2号ファンド(約72億円)

UTEC 第3号ファンド(約146億円)

UTEC 第4号ファンド(約243億円)

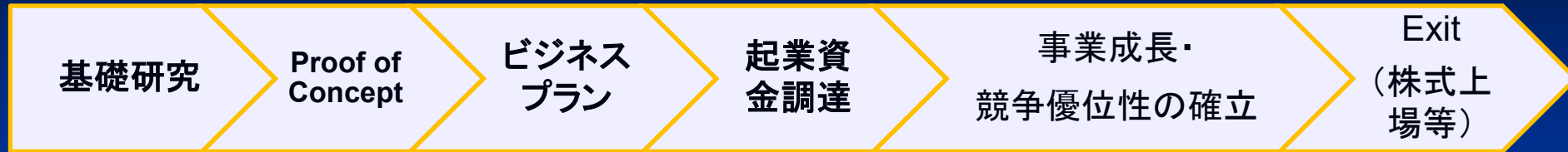
UTEC 第5号ファンド(約304億円)

【東京大学TLO】

発明開示＋特許性・市場性評価

研究成果の技術移転(ライセンス契約)

東大発スタートアップ育成のエコシステムの構築



【産学連携本部(大学発ベンチャー推進本部)】

ワン

「本郷テックダ
(企業寄付)

Found X

外部プロフェッショナルネットワーク
「東大メンターズ」

セッション室(本郷)

インキ

東京大学アントレプレナーラボ
柏Ⅱキャンパス

【東京大学エッジキャピタル(UTEC)】

UTEC サマージョブ

UTEC EIR(アントレプレナー・イン・レジデンス)

UTEC 第1期(約103億円)

UTEC 第2期

(特定研究成果活用支援事業)
東京大学協創プラットフォーム開発

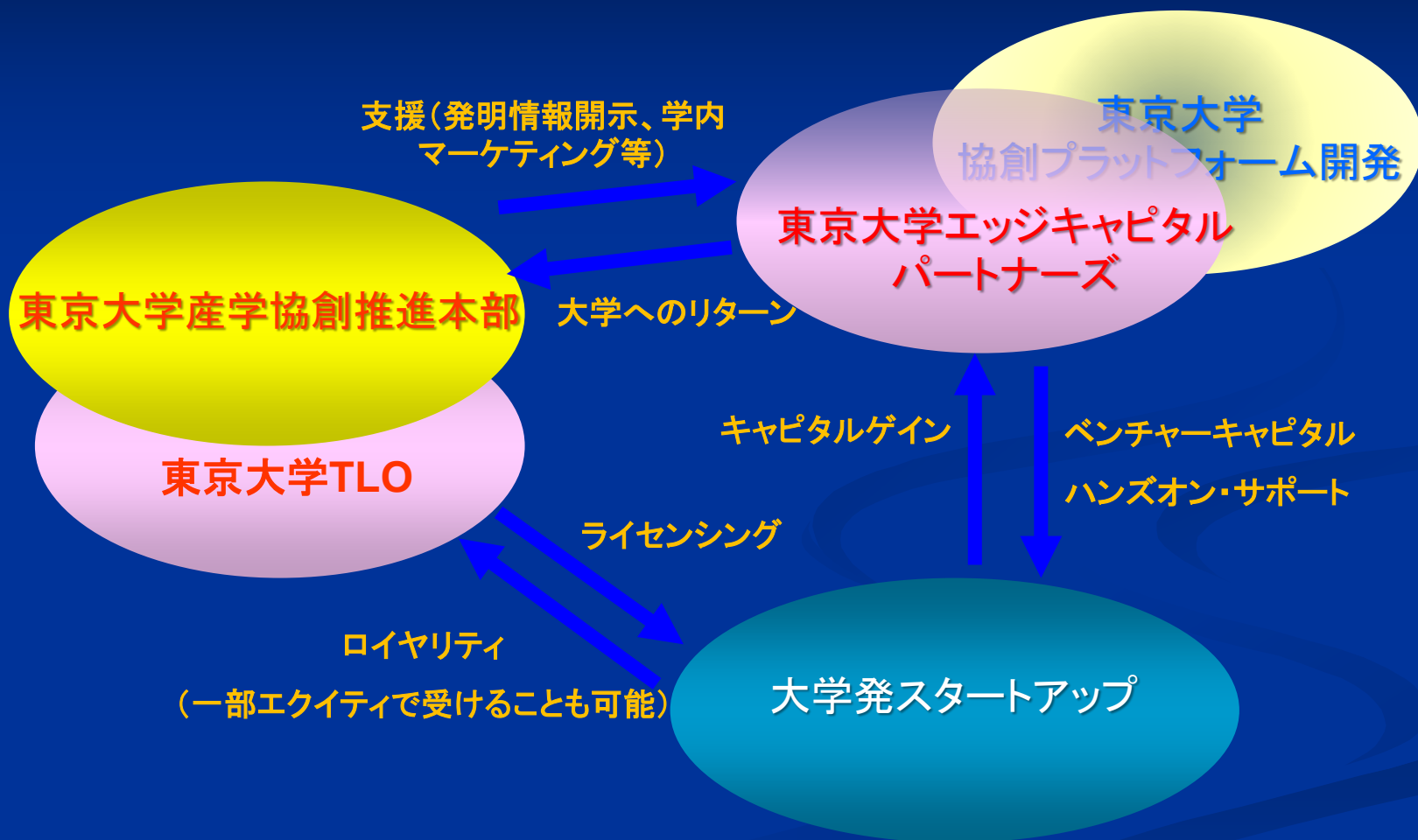
UTEC 第3期

【東京大学TLO】

発明開示+特許性・市場性評価

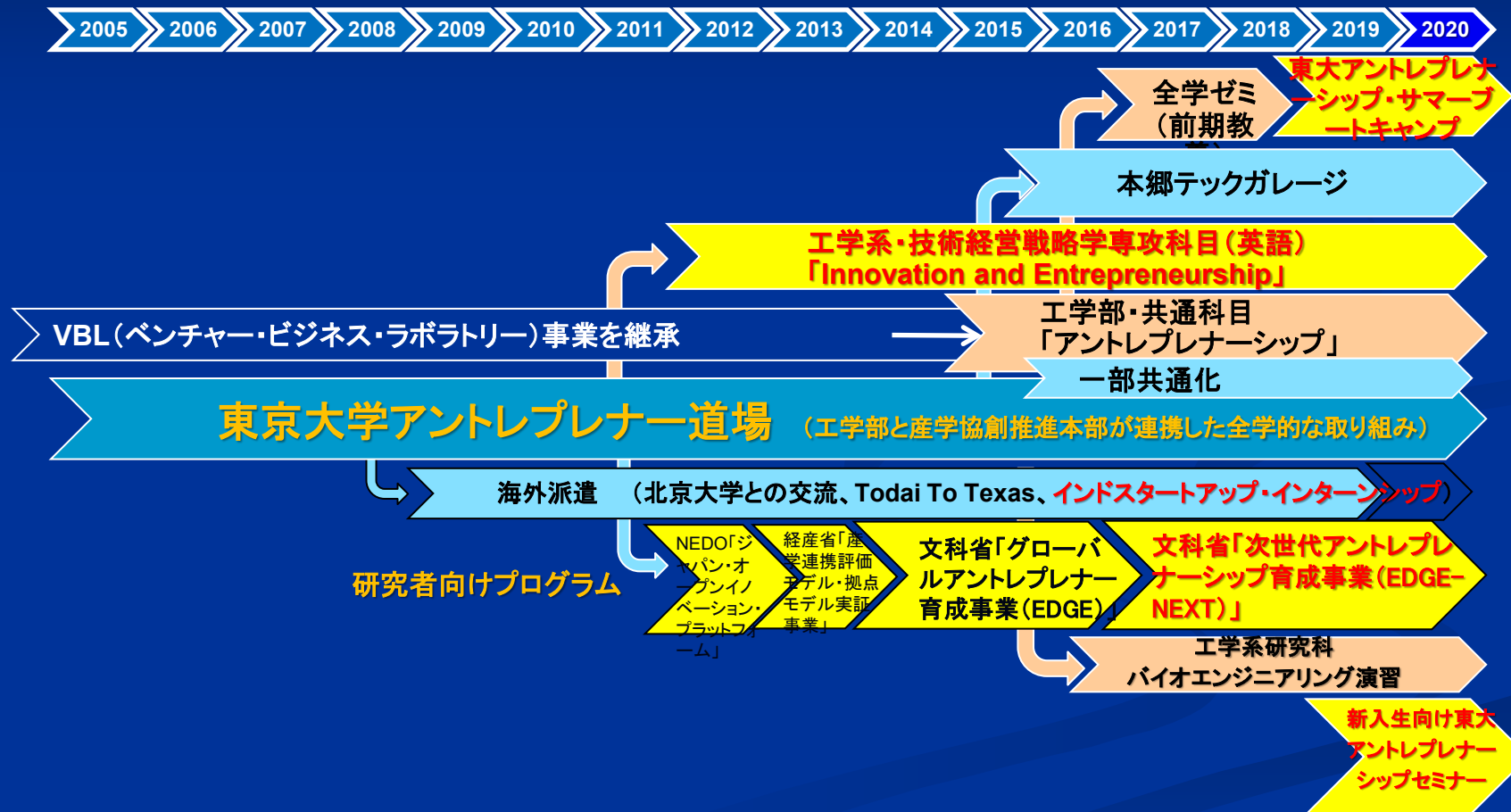
研究成果の技術移転(ライセンス契約)

東大発スタートアップ育成のエコシステムの構築



東京大学のアントレプレナーシップ教育の進展(～2020年度)

(工学系研究科・産学協創推進本部が主催プログラム)

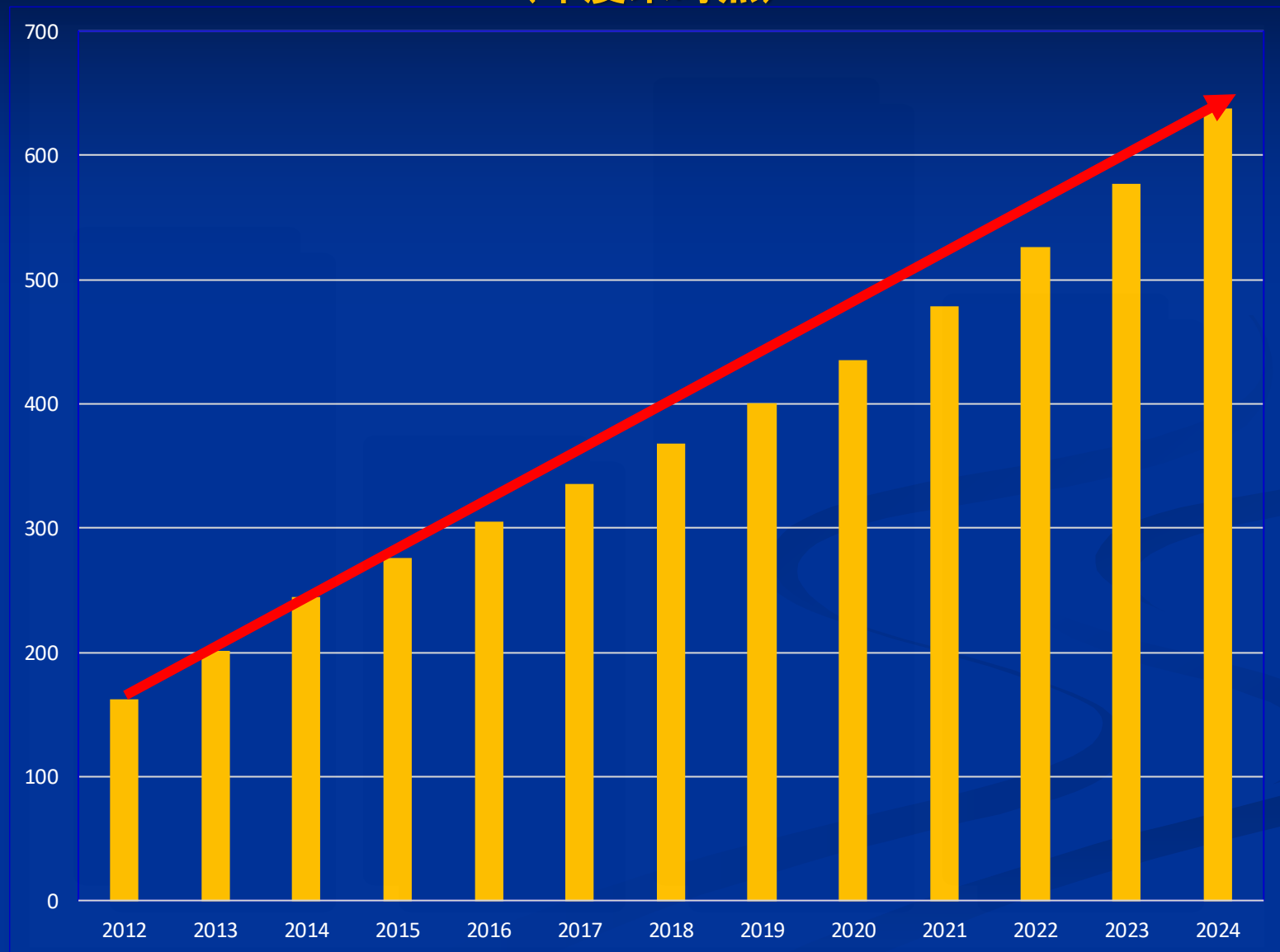


東京大学のアントレプレナーシップ教育の最近の進展

(工学系研究科・産学協創推進本部が主催する主要プログラム)

アントレプレナーシップ教育プログラム	正課		受講対象者						実施体制	
	正 規 科 目	課 外 活 動	1,2 年 生	3,4 年 生	大 学 院 生	ポ ス ト バ ク	研 究 者	卒 業 生	主 催 部 門	担 当 者 の 所 属
工学部「アントレプレナーシップ」:アントレプレナーシップ道場と連動	○			○	○				工学部	産学
アントレプレナー道場	講義部分	○	△	○	○	△			産学	産学
	ビジコン部分	○	△	○	○	△			産学	産学
「Innovation and Entrepreneurship」* 英語講義	○				○				工学系	工学系
「プロジェクト演習Ⅵ」:Deep Dive into the Entrepreneurial Mindset and Process * 英語講義	○				○			サウジ学生	総括委員会・工学系	工学系
EDGE-NEXT(文科省「次世代アントレプレナー育成事業」)		○			○	○	○	企業研究者	産学	産学
GTIE(文科省・JST「大学・エコシステム推進型 スタートアップ・エコシステム形成支援」)		○			○	○	○	企業研究者	産学	産学・工学系
工学系「パイオエンジニアリング演習」	○				○				工学系	工学系
アントレプレナーシップ・サマーブートキャンプ(全学体験ゼミナールゼミナール)	○		○						工学系・教養	工学系
アイデアを形にするモノづくり体験(全学体験ゼミナールゼミナール)	○		○						工学系	工学系
UT-ONE 新入生向けプロジェクトデビュー(学術フロンティア講義)	○		○						工学系・教養	工学系
スタートアップ・トレーニング(学術フロンティア講義)	○								工学系	工学系
新入生向けアントレプレナーシップセミナー		○	○						工学系・教養	工学系
インド・スタートアップ・インターンシップ		○		○	○				(コロナの状況をみて来年度実施に向け検討)	
日経・東大大学ビジコン		○		○	○				産学	工学系
データ駆動型起業演習	○				○				工学系	工学系
アントレプレナーシップ教育デザイン寄付講座(大学院講義+全学体験ゼミナール)	○		○		○				工学系	工学系
北京大学との交流:アントレプレナーシップ道場と連動		○		○	○	△			(コロナの状況をみて今後検討)	
本郷テックガレージ		○	△	○	○				産学	産学
Todai To Texas		○		○	○	△		○	産学	産学
FoundX		○			△	○		○	産学	産学

東京大学におけるスタートアップ創出（累積ベース） （年度末時点）



出所：東京大学産学協創推進本部

小宮山 宏 元東大総長：課題解決の当事者たれ！

解決すべき問題の深刻さ・多さ＝新事業創出機会



- 日本は「課題先進国」
 - 困難な問題が山積
 - 世界に先んじて様々な問題に直面する
- 日本は「課題解決先進国」
 - 世界に先んじて問題解決する

小宮山宏氏
株式会社三菱総合研究所 理事長
1972年、東京大学工学博士課程修了。カリフォルニア大学デービス校ポスト・ドクトラル・フェロー、東京大学工学部教授、副学長を経て、2005～2009年まで第28代東京大学総長を務める。

スタートアップ育成に係る今後の課題

- グローバル視点の導入と実践
- 大学発スタートアップ(特にディープテック・スタートアップ)における経営者人材
 - 客員起業家(EIR)
- 大学VCの設置
- 利益相反マネジメント(個人の利益相反、組織的利益相反)
- ギャップファンドの組成・活用
- 双方向のオープン性
 - プラットフォーム事業への参画
- 社会起業(ソーシャルアントレプレナーシップ)の支援
- 女性起業の促進、女性起業家支援・育成
- 地方創生と地域大学の役割

本日は円卓会議に出席させて頂き、たいへん光栄です



開志専門職大学 学長
東京大学 特命教授
東京大学 名誉教授
各務 茂夫